

令和6年1月

## 石垣港港湾計画（改訂）に伴う航行安全対策調査専門委員会

### 1 委員会報告書概要

本委員会では、石垣市が石垣港の港湾計画改訂に位置付けて計画している新港地区の1.2万GT級RORO船を対象船舶とした岸壁施設及び水域施設の整備並びに8.7千GT級RORO船の浜崎地区における岸壁のシフト、また、国内外の大型プレジャーボートの係留が可能な新港地区のマリーナ計画、更に、これらの港湾整備に伴い発生する浚渫土砂を処理するための海面処分用地計画について、船舶航行の安全性の観点から調査・検討し、必要な航行安全対策をとりまとめた。

本港湾計画改訂のうち、新港地区ふ頭北側に1.2万GT級RORO船の岸壁施設と水域施設を整備し、浜崎地区ふ頭南側の既存岸壁において8.7千GT級RORO船を水深7.5m岸壁から水深9.0m岸壁にシフトさせる計画について、係留施設と対象船舶の諸元等との関係を「港湾の施設の技術上の基準・同解説（平成30年5月）」に基づき整理・確認するとともに、操船例図を用いて水域施設等と対象船舶又は隣接岸壁利用船舶との関係について調査・検討した。

さらに、マリーナ計画については、施設管理者が寄港する国内外の大型プレジャーボートに対してマリーナの水深や広さと船舶の操縦性能等を考慮して適正な運用を行うことを提言した。

### 2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 港湾計画改訂の概要
- (3) 航行環境
- (4) 検討課題の整理
- (5) 港湾計画改訂に係る安全性の検討
- (6) 航行安全対策